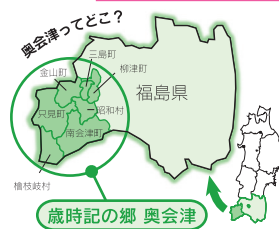


奥会津だより



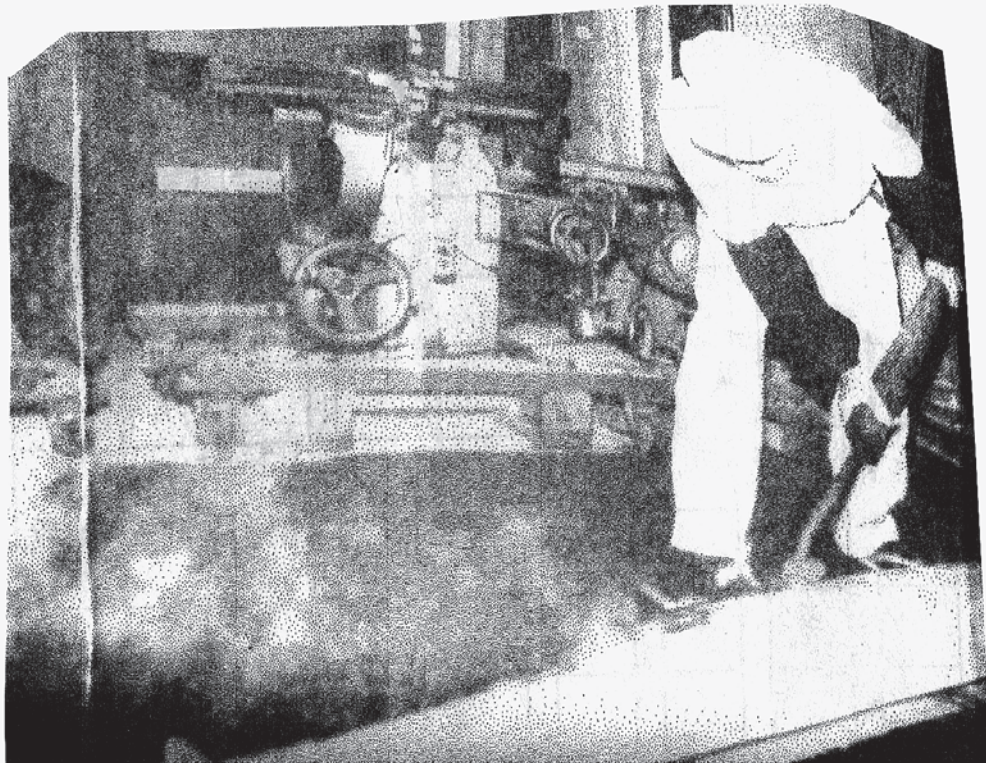
朝もやの彼方から差し込む太陽は
わずかに日の出の紅を残している
やわらかな春のヴェールだ
木々も生き物たちも
目覚めのときが来た



写真：半沢政人

一枚の写真から

柳津町立柳津中学校 一年 小林 タ斗



取材ノート

父・小林孝至(たかし)さん

(昭和三十一年生)

孫・小林タ斗(ゆうと)君

(平成十四年生)

(柳津中二年)

この写真は、僕のおじいちゃんが琴を作製している写真です。

おじいちゃんは、南会津郡只見町に誕生しました。じいちゃんが仕事を始めたのは昭和二十四年からで、琴を作り始めました。琴作りの前は、地元の金子桐材店に勤務していました。その後、単身上京して十年余り、建設会社に勤務しました。でも退職し、帰郷後は金子桐材店に戻り、勤続三十数年。琴の作製を専門に熟練の技を見せたと聞きました。なかなか後継者が出来ずに一人で頑張ってきたが体調を崩したことで引退を決意し、平成十四年、七十八歳で退職しました。

酒もタバコも嗜(たしな)まず、職人気質の働き者だったそうです。そして、平成七年、自宅を新築しました。単身での出稼ぎの間、育ち盛りの子供を抱えて留守を守った祖母の頑張りに改めて感謝したそうです。

なお、区長二期を務め、町長から感謝状を貰ったそうです。

昔は運転も得意で、仕事の合間に幼児の送迎を手伝ったりしていたのに、免許も返納し、ハンドルを握ることはなく、温泉巡りと孫の成長を楽しむに健康づくりの毎日でした。でもじいちゃんは、僕が四歳の時に、亡くなってしまいました。じいちゃんの話は、お父さんに聞きました。

僕は、あまりじいちゃんとの思い出は覚えてはいないけど、じいちゃん、僕を育ててくれてありがとう。僕も頑張るよ。



Q..今回はタ斗君のじいちゃんの話をお父さんにお聞きします。

孝至さん..亡くなった親父(じいちゃん)は小林武と言いました。大正十三年生まれです。タ斗が二歳か三歳の時には入院していたので、じいちゃんのこととは殆ど記憶がないでしょうね。

Q..タ斗君、二枚の写真から"なんだけれども、どうしてこの写真をえらんだのでしょうか？"

タ斗君..じいちゃんの写真があまり無かったのですが、琴を作っていたと聞いていたのでこれかな、と思います。

Q..じいちゃんは只見町生まれですね。琴を作る職人さんだったとか。

孝至さん..おそらく最初は琴を作っていたはずですが、東京あたりに出稼ぎに行っていて、私が十歳ぐらいの時に帰ってきました。琴を作るのを習いに行ったら、と聞いたことがあります。こちらに来ては、製材所に勤務していました。

Q..お父さんと遊んだ記憶はありますか？

孝至さん..遊んだ記憶は無いです。
Q..お父さんの思い出は？
孝至さん..親父の思い出..厳しかっ

たです。勉強のことなんかは、何も言わなかったですけど。

Q..部活動の試合に応援に来るとか無かったですか？

孝至さん..無かったですね。今は入學式でも卒業式でも両親が行くのが多いですが、昔は生活がかかっていたので、学校とかには来なかったです。

Q..この写真は何をしていますのしょう？

孝至さん..琴にコテで焼きを入れて、桐の木目を出しているところでしよう。この工程如何で、値段が決まってしまうそうです。

Q..タ斗君、お父さんから聞いたじいちゃんってどんな人だと思っただ？

タ斗君..働き者だったんだなあ、と思います。

※タ斗君は車に興味があるので工業高校・自動車科を希望している。

(写真・文責:菅 敬造)

不思議な話

田んぼで足踏み

小柴芳夫さん談

(昭和三年生まれ・三島町西方)

オレが子どもの頃、大石田の年寄りじいさまから聞いた話だ。ある朝早く、じいさまがマエノサワにある自分の田んぼの水を見に行ったら、男が一人、ベツチャベツチャさかんに田んぼの中で足踏みしている。じいさまはすぐ、キツネだ、とわかったから「このやろう!」と大きな声で言った。すると男はハッと我にかえり「あれ、オレ、なじよしただ?」と言って帰っていった。男は電気屋で、前の日に仕事で大石田に来たのだった。仕事がすんで一杯ご馳走になり酔っ払って、さて帰るときになって、キツネにばかだから本当のことだよ。(採録:渡部 和)

奥会津の食材と料理

クレソンのサラダ



真っ先に雪が融ける川べりや清水に自生するクレソンを、昔から「セリ」と呼んで春の食卓に供した。早春の緑はそれだけでご馳走。水で洗っただけで、大根の千切りと共にサラダにして、ピリッとした辛味を楽しむ。

暦に添う暮らし



アサツキ(ヒル)摘み

畑の残雪の傍らに、次々とアサツキ(ヒル)が芽を出す。アサツキ摘みは、待ちかねた春を実感する楽しい野遊びだ。雪の匂い、枯れ草の匂い、アサツキの匂いを取り込んだあたたかな日差しが、懐かしい春の匂いを醸し出す。

奥会津で一年じゅう見られるカモは、本種とカルガモだけ。オスはうつくしいイチョウ羽をもつ。水鳥ながら、よく木の枝に止まり、ドングリを好んで食べる。仲のよい夫婦にたとえられるが、相手は毎年入れ替わるといふ。



オシドリ

奥会津の生き物たち

写真・文：新国 勇



ユビソヤナギ

奥会津の水辺に生える貴重なヤナギ。只見川支流の伊南川と叶津川に自生する。群馬県の湯檜曾川で発見されたが、伊南川が国内最大の自生地。3月、雪のなかで、真っ先に花をつける。日本固有種であり絶滅危惧種。

子どものいる風景

写真・文 竹島 善一

畑の隅に雪が残る早春。陽に誘われた人々は家の外に出て、足に伝わる土の感触をいとおしむ。庭の木々が芽吹くのもすぐだ。孫を気遣う老婆とそれを見やる母親に、働き出した耕運機のエンジン音が重なる。すべての平安がここにある。

(昭和五十四年四月 南会津町・南郷)



方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「なじよした?」 ヒント：P2.「不思議な話」をご参照下さい。

正解者の中から抽選で5名様に、檜枝岐村の「曲げ菓子器」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979 奥会津書房 宛

●応募締切：2017年3月24日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。 ※クイズの答えは次号98号で発表いたします。



◎96号「杉おこし」の答え：倒れた杉を起こす

たくさんのご応募ありがとうございました!

読者コーナー

- いつもあたたかい気持ちと懐かしさで一杯になります。聞き書き百選は、祖父母から孫へと語り継がれる歴史の大切さを、興味深く読ませていただいています。(会津若松市 K.Mさん)
- エゴ、近くのスーパーで買った砂糖が入っていました。福岡前原地区ではオキュートと言ひ、飢饉の時に命を繋ぐものだったとか。娘時代の茶の間を思い出しました。(千葉県茂原市 H.Yさん)
- 学童疎開での生活が蘇り、懐かしさで胸いっぱいです。西山中学校は当時、砂子原小学校で、村の人たちが作ってくれた雪道の中を、滝の湯から通いました。(東京都 S.Tさん)
- 紙面のすべてが、自分の若い頃の思い出がこぼれて落ちて来るような気がします。(千葉県我孫子市 N.Aさん)
- 奥会津の四季ごとの話題や地方に根ざした文化がわかり、読むのがとても楽しいです。子どもたちにも夏休みなどに、奥会津のいろんなことを体験させたい。(東京都 T.Hさん)

奥会津だより 定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

特別列車運行!

◆風っこ只見線新緑号

平成 29 年 5 月 4 日(木)～6 日(土)

会津若松～会津川口間

◆SL 只見線新緑号

平成 29 年 5 月 20 日(土)、21 日(日)

会津若松～会津川口間

◆快速 只見線山菜満喫号

平成 29 年 6 月 17 日(土)、18 日(日)

新潟～只見間

奥会津イベント情報

4月～6月

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
4月1日(土)	溪流釣り解禁	金山町	只見川およびその支流	只見川漁業共同組合長 馬場 清次 ☎0241-56-4252
	溪流釣り解禁		野尻川およびその支流	野尻川非出資漁業協同組合(坂内商店) ☎0241-54-2123
	ヒメマス解禁	南会津地域	沼沢湖	沼沢漁業協同組合長 鈴木 茂 ☎0241-55-3218
	溪流釣り解禁		伊南川本流支流及び館岩川本流支流	南会津西部非出資漁業協同組合 ☎0241-72-2110
4月8日(土)	檜枝岐川釣り解禁	檜枝岐村	檜枝岐川 東雲館	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
4月9日(日)	福寿草祭	南郷地域	中小屋地区	南会津町観光物産協会南郷観光センター ☎0241-64-5811
4月21日(金)～4月25日(火) 予定 ※雪解けの状況により開催日が変更になる場合あり	大林ふるさとの山「カタクリ・さくらまつり」	三島町	大林ふるさとの山(三島町西方)	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
4月27日(木)～ 9月24日(日)	尾瀬と檜枝岐100年史記念展	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐山旅案内所	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
4月28日(金)	金山町妖精美術館オープン	金山町	金山町妖精美術館	金山町役場産業課 ☎0241-54-5327 金山町妖精美術館 ☎0241-55-3180 (オープン後)
	沼沢湖キャンプ場オープン		沼沢湖キャンプ場	道の駅奥会津かねやま ☎0241-55-5334 金山町自然休養村センターあらはま ☎0241-55-3140 (オープン後)
4月29日(土・祝)	久保田三十三観音まつり	柳津町	久保田地区観音山	柳津観光協会 ☎0241-42-2346
	良寛和尚供養祭		つきみが丘町民センター	柳津町役場観光商工班 ☎0241-42-2114
	ミニ尾瀬公園オープン	檜枝岐村	ミニ尾瀬公園	ミニ尾瀬公園 ☎0241-75-2065
5月上旬	博士山水芭蕉まつり	昭和村	水芭蕉としらかばの杜	昭和村観光協会 ☎0241-57-3700
5月3日(水・祝)	前沢茶師堂まつり	館岩地域	前沢集落	前沢景観保存会 ☎0241-72-8977
5月3日(水・祝)～ 5月6日(土)	からむし市	昭和村	道の駅からむし織の里しょうわ織姫交流館	からむし工芸博物館 ☎0241-58-1677
5月5日(金・祝)	鬼子母神例大祭	三島町	西隆寺	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
5月7日(日)	長卸山 山開き	館岩地域	木賊温泉	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
5月12日(金)	愛宕神祭礼奉納歌舞伎	檜枝岐村	歌舞伎の舞台	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
5月13日(土)	飯谷山 山開き	柳津町	飯谷山登山口	柳津町B & G海洋センター ☎0241-42-2246
5月14日(日)	要害山 山開き	只見町	只見駅前駐車場	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
5月20日(土)	博士山 山開き	柳津町	博士山麓登山口駐車場	柳津町B & G海洋センター ☎0241-42-2246
5月20日(土)～ 6月4日(日)	第3回山人・春まつり	檜枝岐村	檜枝岐村内旅館・民宿	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
5月26日(金)～ 5月28日(日)	第2回小さな村g7サミットin檜枝岐		東雲館	檜枝岐村企画観光課 ☎0241-75-2503
5月27日(土)	尾白山 山開き	伊南地域	仲川原運動公園前受付(宮沢登山口)	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
5月28日(日)	大嵐山・湯ノ倉山 山開き	館岩地域	湯ノ花温泉	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
5月下旬	尾瀬 山開き	檜枝岐村	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
5月下旬～6月末	高畑スキー場わらび園オープン	伊南地域	高畑スキー場	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)
発行日：3月10日発行(年6回発行)事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525
http://www.okuaizu.net ☐webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。